

平成30年度 事業報告書(平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで)

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

定款の事業分類	委託者	事業名	写真	事業内容	時期	人数
清掃・植樹・自然再生	豊富町	稚咲内砂丘林再生(町有林)		国立公園特別保護地区内において、ミズナラの森林(町有林)再生に向け、地域の方と一緒に苗畑の除草などの日常的な維持管理作業や、秋に植樹イベントを実施し、236本の苗木を植樹しました。	5-11月	160
	豊富町	稚咲内海岸清掃		国立公園の稚咲内海岸に散乱している漂着ゴミ約1.5トンのゴミを回収し、国立公園の美化に貢献しました。	7-10月	60
	環境省	外来植物防除対策		国立公園内のオオハンゴンソウ(特定外来生物)などの外来種除去作業や周辺の巡視を行いました。特に稚咲内砂丘林縁部の大群落の除去に集中的に取り組みました。	5-10月	50
	構研エンジニアリング	稚咲内砂丘林再生(国有林)		国有林において植樹された木々の調査、エゾシカの食害調査などを行いました。	7月	5
	ゆうちょ銀行	ペンケ沼・サロベツ川清掃		市民参加型の渡り鳥調査を開催するほか、カヤックを用いてサロベツ川及びペンケ沼へ行き、堆積しているゴミを回収しました。また、活動結果を町民文化祭等で展示を行い、普及啓発も行いました。	7-10月	20
	独自	その他清掃・植樹・自然再生		地域で行われる清掃活動や植樹活動などに参加協力し、周辺の環境美化・保全等に貢献しました。	4-3月	10
動植物の生態や植生調査	日本野鳥の会	チュウヒ・海鳥等調査		種の保存法に指定されたチュウヒの繁殖状況の確認調査と風力発電による影響を評価するために、オジロワシの繁殖状況を春から夏にかけて調査し、洋上風車計画対応のために四季を通じて海鳥調査を行いました。	-	-
	環境省	チュウヒ調査・普及啓発		サロベツの国立公園で春から夏にかけてチュウヒの繁殖調査を行いました。秋には講師を招いて講演会と調査報告会を行いました。	-	-
	日本野鳥の会	シマアオジ調査		春から夏にかけてシマアオジの保全のための繁殖調査・生息確認調査・国際的な渡り経路を解明するための足環調査を行いました。	-	-
	バードリサーチ	モニタリングサイト1000ガンカモ調査		ガンカモのモニタリングサイト1000に登録されている兜沼、ペンケ沼、振老沼(天塩町)で、ねぐら調査を春と秋に行い、種と個体数を数えました。	-	-
	Envision環境保全事務所	稚内市エゾシカ調査・捕獲補助		稚内市で急増エゾシカ対策のため、自動撮影カメラを使用した生息状況調査や捕獲作業の補助を行いました。	12-3月	30
	Envision環境保全事務所	サロベツエゾシカ調査補助		サロベツで急増するエゾシカの影響を調査するため、自動撮影カメラを使用した個体数調査の補助を行いました。	11-2月	10
	北海道大学	エゾシカ食害植生調査補助		サロベツ急増するエゾシカによって、湿原植物への食害が発生していることから、被害状況を明らかにするために研究者が実施する植生調査の補助作業を行いました。	5-9月	15
	稚内観光協会	バードウォッチング集客事業		宗谷地方の鳥観察を宣伝するために、鳥の下敷きを作成し、11月に千葉県で開催されたジャパンバードフェスティバルに参加しました。	-	-

平成30年度 事業報告書(平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで)

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

定款の事業分類	委託者	事業名	写真	事業内容	時期	人数
動植物の生態や植生調査	独自	風力発電対応		周辺で計画されている風力発電計画に関する環境影響評価書に対して景観や動植物への影響に関する意見書の作成、協議会の参加し、学習会の開催・参加、情報収集・発信を行いました。	-	-
	独自	動植物の生態や植生調査その他		ガンカモ一斉調査、ワシ一斉調査、鳥類繁殖分布調査に協力しました。秋にミコアイサ・シマアオジ報告会を開催しました。冬に傷病鳥対応を行いました。鳥類を始めとした自然情報を収集しました。	-	-
自然教室・セミナー	豊富町	高校生サブレンジャー人材育成		湿原センターを拠点に、自然解説や利用マナー啓発、展示物製作、保全活動を行い、国立公園の適切な管理と利用推進を図ると共に、次世代の環境保全の担い手を育成することを目的として実施しました。	6-8月	60
	環境省	ジュニアパークレンジャー		地域の子供達を対象とした自然体験や環境学習会を実施し、自然保護の大切さや自然とのつきあい方、自然に対する思いやりなど、子どもの豊かな人間性を育むことを目的として実施しました。	4-3月	75
	助成金	なまらサロベツクラブ		地域の子供達を対象に、四季を通じてサロベツの自然を体験し、地域との交流を通して、人・地域・自然を愛する心を養い、幅広い場で活躍できる次世代の環境リーダーの育成を目指すことを目的として実施しました。	4-3月	40
	各種	講師派遣・人材育成研修会		講演依頼や、講師派遣の依頼を受け、職員がセミナーや体験活動の講師を務めました。また、研修会の企画、派遣も行いました。	4-3月	-
	独自	インターンシップ等		サロベツで活動するインターンシップ等の学生の対応を行いました。	4-3月	-
	独自	自然教室・セミナーその他		サロベツに関するテーマで適宜セミナーなどを開催しました。	4-3月	-
地域活性化	豊富町教育委員会	郷土資料室資料整理		豊富町内の郷土資料を把握し、整理・登録作業を行うと共に、今後に向けての保管・展示方針を検討しました。また、豊徳地区の郷土資料の登録を完了させました。	11-3月	40
	豊富町商工観光課	豊富温泉活性化		豊富温泉の案内拠点や宿泊施設と連携し、湯治客や旅行者向けの定期体験プログラムを開催しました。ホテル観察、スノーシューなどその季節にしか体験できない魅力的なメニューを提供しました。	6-3月	70
	豊富町観光協会	おもてなしスキルアップセミナー		豊富町・サロベツの恵まれた自然や食、産業などを地域の方々に知ってもらい、受講者自身が地元の魅力を外部に発信できるようになることを目的に、体験ツアー型のセミナーを開催しました。	10-2月	40
	独自	地域活性化その他		ホッキ祭り、兜沼スノーシュー、小学校の遠足などの地域のイベントに協力し、湿原センターではもちつきを開催しました。	4-3月	150

平成30年度 事業報告書(平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで)

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

定款の事業分類	委託者	事業名	写真	事業内容	時期	人数
施設維持 管理受託 業務	豊富町	サロベツ湿原センター管理運営・案内解説		サロベツ湿原センターの施設管理作業(館内清掃・展示物作成・施錠等)や、施設を訪れた方に地域の自然情報提供、周辺の観光案内などを行いました。	4-3月	-
	環境省	自然再生協議会関係・普及活動推進		自然再生の普及推進のため、現地見学ツアーの開催、サロベツ・エコモー・プロジェクトの推進、イベントの企画・運営などを行います。また、自然再生協議会の事務局の一員として、事務局業務を分担しました。	4-3月	900
	環境省	木道維持管理		利尻礼文サロベツ国立公園サロベツ地域において環境省が整備を行った自然再生施設等において、定期的な点検を行うとともに、破損箇所の補修等を行い、適切に維持管理をしました。	5-10月	130
	環境省	大学生サプレんジャー		夏期期間中において、サロベツ湿原センター及び幌延ビジターセンターを拠点にサロベツ湿原の自然再生をはじめとする国立公園の保安全管理や利用指導を充実させることを目的として実施しました。	7-9月	50
	環境省	自然再生普及行動計画作成		上サロベツ自然再生普及行動計画が見直され、第3期になったことを踏まえ、パンフレットのリニューアルやホームページ情報の更新を行いました。	10-3月	-
	豊富町	稚咲内トイレ清掃		稚咲内海岸線を車でドライブする観光客の方などが快適に利用できるよう、稚咲内トイレの清掃作業を行いました。	4-10月	180
	リードネット	サロベツ湿原センター水質浄化湿地管理		サロベツ湿原センター敷地内にある水質浄化湿地を定期的に見回り、適切に機能しているかどうか点検作業を行いました。	6-10月	20
その他事業	独自	物品販売		湿原センター・周辺観光施設・通信販売等でサロベツに関する商品を開発しました。	4-3月	-
	独自	レンタル		スノーシュー、長靴、双眼鏡など、サロベツの自然を楽しんでもらうために必要な道具の貸し出しを行いました。	4-3月	-
	独自	ガイド等活動		サロベツを訪れた方を対象に自然の魅力を伝える有料ガイド事業を行いました。	4-3月	-
	独自	会費等		会員の方々に、会員継続と会費納入のお願いを行い、新規会員の勧誘を行いました。	4-3月	-
	独自	募金・寄付金等		サロベツの自然の保全活動や環境教育活動の支援を呼びかける募金箱を設置したり、寄付を募りました。	4-3月	-
	独自	雑収入		サロベツに関するイベントを開催し、サロベツに関する原稿等を執筆し、サロベツに関連する商品を受託販売しました。	4-3月	-
	独自	広報その他		会員・関係者向けニュースレターの製作・発行を行います。また、ホームページやメール、SNSなどを利用して情報発信を行いました。	4-3月	-